

オンデマンド講座（小学校）

「考え、議論する」道徳の 授業づくり

島根県教育センター

この動画は、出前講座「道徳」をオンデマンド化したものです。各小学校において「考え、議論する」道徳の授業づくりの研修が行われる際にお役立ていただきたいと思っております。

事前準備

- ① 小学校学習指導要領（平成29年告示）
解説 特別の教科 道徳編
- ② 教材「雨のバス停留所で」
（『わたしたちの道徳（3・4年）』p126～）
- ③ 道徳授業づくりシート
- ④ リーフレット
「考え、議論する道徳科の授業づくり
～道徳授業づくりシートの活用～」

まず、次の4つを事前にご準備ください。

- ① 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科
道徳編
 - ② 教材「雨のバス停留所で」
（『わたしたちの道徳（3・4年）』p126～）
 - ③ 道徳授業づくりシート
 - ④ リーフレット 「考え、議論する道徳科の授業づくり ～
道徳授業づくりシートの活用～」
- 以上をお手元にご準備いただき研修を進めてください。

島根県教育センターのホームページに掲載しています

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改題)

教科名: _____ 主題名: _____

本時の内容構成の概観は、

内容構成の分析・整理
(一欄に考えたいポイント)

高学年時に導入授業活動の概観

低学年時に導入授業活動の概観

★**水山の三層モデル**
(徳大大学 高松生教授考案)

教材

登場人物が感じたこと
や考えたこと

道徳的価値についての
考え方や生き方、
信憑

1. 登場人物の行動・言葉・心理
を、簡潔に記述し、(A) (B) (C) (D) (E) (F) (G) (H) (I) (J) (K) (L) (M) (N) (O) (P) (Q) (R) (S) (T) (U) (V) (W) (X) (Y) (Z) (AA) (AB) (AC) (AD) (AE) (AF) (AG) (AH) (AI) (AJ) (AK) (AL) (AM) (AN) (AO) (AP) (AQ) (AR) (AS) (AT) (AU) (AV) (AW) (AX) (AY) (AZ) (BA) (BB) (BC) (BD) (BE) (BF) (BG) (BH) (BI) (BJ) (BK) (BL) (BM) (BN) (BO) (BP) (BQ) (BR) (BS) (BT) (BU) (BV) (BW) (BX) (BY) (BZ) (CA) (CB) (CC) (CD) (CE) (CF) (CG) (CH) (CI) (CJ) (CK) (CL) (CM) (CN) (CO) (CP) (CQ) (CR) (CS) (CT) (CU) (CV) (CW) (CX) (CY) (CZ) (DA) (DB) (DC) (DD) (DE) (DF) (DG) (DH) (DI) (DJ) (DK) (DL) (DM) (DN) (DO) (DP) (DQ) (DR) (DS) (DT) (DU) (DV) (DW) (DX) (DY) (DZ) (EA) (EB) (EC) (ED) (EE) (EF) (EG) (EH) (EI) (EJ) (EK) (EL) (EM) (EN) (EO) (EP) (EQ) (ER) (ES) (ET) (EU) (EV) (EW) (EX) (EY) (EZ) (FA) (FB) (FC) (FD) (FE) (FF) (FG) (FH) (FI) (FJ) (FK) (FL) (FM) (FN) (FO) (FP) (FQ) (FR) (FS) (FT) (FU) (FV) (FW) (FX) (FY) (FZ) (GA) (GB) (GC) (GD) (GE) (GF) (GG) (GH) (GI) (GJ) (GK) (GL) (GM) (GN) (GO) (GP) (GQ) (GR) (GS) (GT) (GU) (GV) (GW) (GX) (GY) (GZ) (HA) (HB) (HC) (HD) (HE) (HF) (HG) (HH) (HI) (HJ) (HK) (HL) (HM) (HN) (HO) (HP) (HQ) (HR) (HS) (HT) (HU) (HV) (HW) (HX) (HY) (HZ) (IA) (IB) (IC) (ID) (IE) (IF) (IG) (IH) (IJ) (IK) (IL) (IM) (IN) (IO) (IP) (IQ) (IR) (IS) (IT) (IU) (IV) (IW) (IX) (IY) (IZ) (JA) (JB) (JC) (JD) (JE) (JF) (JG) (JH) (JI) (JJ) (JK) (JL) (JM) (JN) (JO) (JP) (JQ) (JR) (JS) (JT) (JU) (JV) (JW) (JX) (JY) (JZ) (KA) (KB) (KC) (KD) (KE) (KF) (KG) (KH) (KI) (KJ) (KK) (KL) (KM) (KN) (KO) (KP) (KQ) (KR) (KS) (KT) (KU) (KV) (KW) (KX) (KY) (KZ) (LA) (LB) (LC) (LD) (LE) (LF) (LG) (LH) (LI) (LJ) (LK) (LL) (LM) (LN) (LO) (LP) (LQ) (LR) (LS) (LT) (LU) (LV) (LW) (LX) (LY) (LZ) (MA) (MB) (MC) (MD) (ME) (MF) (MG) (MH) (MI) (MJ) (MK) (ML) (MM) (MN) (MO) (MP) (MQ) (MR) (MS) (MT) (MU) (MV) (MW) (MX) (MY) (MZ) (NA) (NB) (NC) (ND) (NE) (NF) (NG) (NH) (NI) (NJ) (NK) (NL) (NM) (NN) (NO) (NP) (NQ) (NR) (NS) (NT) (NU) (NV) (NW) (NX) (NY) (NZ) (OA) (OB) (OC) (OD) (OE) (OF) (OG) (OH) (OI) (OJ) (OK) (OL) (OM) (ON) (OO) (OP) (OQ) (OR) (OS) (OT) (OU) (OV) (OW) (OX) (OY) (OZ) (PA) (PB) (PC) (PD) (PE) (PF) (PG) (PH) (PI) (PJ) (PK) (PL) (PM) (PN) (PO) (PP) (PQ) (PR) (PS) (PT) (PU) (PV) (PW) (PX) (PY) (PZ) (QA) (QB) (QC) (QD) (QE) (QF) (QG) (QH) (QI) (QJ) (QK) (QL) (QM) (QN) (QO) (QP) (QQ) (QR) (QS) (QT) (QU) (QV) (QW) (QX) (QY) (QZ) (RA) (RB) (RC) (RD) (RE) (RF) (RG) (RH) (RI) (RJ) (RK) (RL) (RM) (RN) (RO) (RP) (RQ) (RR) (RS) (RT) (RU) (RV) (RW) (RX) (RY) (RZ) (SA) (SB) (SC) (SD) (SE) (SF) (SG) (SH) (SI) (SJ) (SK) (SL) (SM) (SN) (SO) (SP) (SQ) (SR) (SS) (ST) (SU) (SV) (SW) (SX) (SY) (SZ) (TA) (TB) (TC) (TD) (TE) (TF) (TG) (TH) (TI) (TJ) (TK) (TL) (TM) (TN) (TO) (TP) (TQ) (TR) (TS) (TT) (TU) (TV) (TW) (TX) (TY) (TZ) (UA) (UB) (UC) (UD) (UE) (UF) (UG) (UH) (UI) (UJ) (UK) (UL) (UM) (UN) (UO) (UP) (UQ) (UR) (US) (UT) (UU) (UV) (UW) (UX) (UY) (UZ) (VA) (VB) (VC) (VD) (VE) (VF) (VG) (VH) (VI) (VJ) (VK) (VL) (VM) (VN) (VO) (VP) (VQ) (VR) (VS) (VT) (VU) (VV) (VW) (VX) (VY) (VZ) (WA) (WB) (WC) (WD) (WE) (WF) (WG) (WH) (WI) (WJ) (WK) (WL) (WM) (WN) (WO) (WP) (WQ) (WR) (WS) (WT) (WU) (WV) (WW) (WX) (WY) (WZ) (XA) (XB) (XC) (XD) (XE) (XF) (XG) (XH) (XI) (XJ) (XK) (XL) (XM) (XN) (XO) (XP) (XQ) (XR) (XS) (XT) (XU) (XV) (XW) (XX) (XY) (XZ) (YA) (YB) (YC) (YD) (YE) (YF) (YG) (YH) (YI) (YJ) (YK) (YL) (YM) (YN) (YO) (YP) (YQ) (YR) (YS) (YT) (YU) (YV) (YW) (YX) (YY) (YZ) (ZA) (ZB) (ZC) (ZD) (ZE) (ZF) (ZG) (ZH) (ZI) (ZJ) (ZK) (ZL) (ZM) (ZN) (ZO) (ZP) (ZQ) (ZR) (ZS) (ZT) (ZU) (ZV) (ZW) (ZX) (ZY) (ZZ)

授業構想

高学年に導入するものの内容構成、教材の選定

授業導入の子供に与えられる多様な反応

問いかけの時間

学習活動の多様な展開

本時のねらい

※本時授業に導入する教材の活用に関する専門的助言 (著: 徳) により、徳大大学大学院 徳大徳大大学院の協賛により

島根県教育センター (令和2年3月版)

「道徳授業づくりシート」及び「リーフレット～道徳授業づくりシートの活用～」は、島根県教育センターのホームページに掲載していますので、ダウンロードしてご準備ください。

講座の流れ（約90分）

- 1 道徳科について（約10分）
→「道徳」オンデマンド①
- 2 授業づくりの手順（約20分）
→「道徳」オンデマンド②
- 3 演習「授業づくり」（約60分）
→「道徳」オンデマンド③

4

それでは、90分の講座の流れです。

- 「1. 道徳科について」は、10分程度
- 「2. 授業づくりシートの使い方」は、20分程度
- 「3. 授業づくりの演習」は、60分程度の時間を目安としています。

本講座のゴール

「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。

本講座のゴールを確認します。

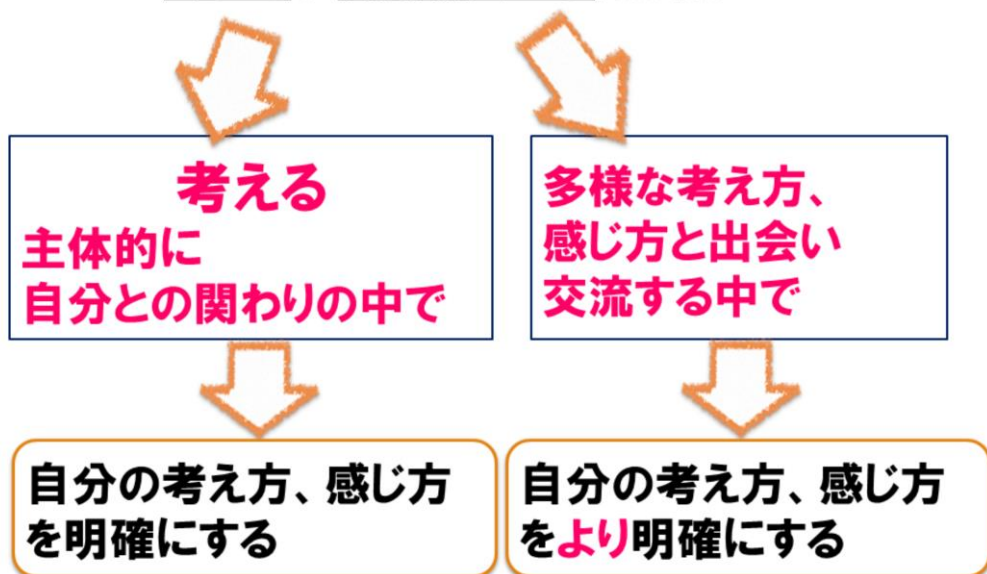
ゴールは、「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。」ようになっていただくことです。本講座を終えたあとに、道徳の授業をつくるためには「ここがポイントだ」「こうすれば考え議論する道徳ができる」と説明してもらいます。このゴールを意識しながら講座を進めていただきたいと思います。

講座の流れ（約90分）

- 1 道徳科について（約10分）
- 2 授業づくりの手順（約20分）
- 3 演習「授業づくり」（約60分）

まずは、道徳科についてです。

考え、議論する道徳



7

突然ですが、質問をさせてください。「考え、議論する道徳」とは、どのような道徳なのでしょうか？

今から2分程度でお隣の方と「考え、議論する道徳とは、どのような道徳か」についてお話してください。

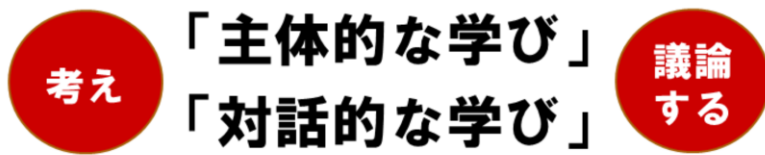
それでは、説明を続けさせていただきます。

「考え」とは、主体的に自分との関わりの中で考え、自分の考え方、感じ方を明確にしていくことです。道徳の時間が「他人事」ではなく、「自分事」として考えることのできる時間でなくてはなりません。児童が「自分はこう考える」「自分はこう感じる」と思考できる45分間にしていくことが欠かせません。

そして、他者の考えを聞き、多様な考え方、感じ方と出会い交流する中で、自分の考え方、感じ方をより明確にすることができる時間ではなくてはなりません。児童が他の児童の考えや感じ方に出会う中で、「そんな考え方もあるのか」「その考え方すてきだな」「そうか！こんなときはこんな風にすればいいのか」と感じることをできる授業をつくるのが大切です。

この時間を積み重ねることで、少しずつ自分の価値観を形成し、将来、自分で判断し、実践することができるようになります。

考え、議論する道徳



自分との関わりで捉え ■ 多面的・多角的に考える



「深い学び」

人間としての生き方についての考えを深める

この「考え、議論する道徳」と各教科における授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」には、このような関係があります。

「考え、議論する」は、「主体的な学び」及び「対話的な学び」を意味しています。そして、「指導の明確な意図」によって、「深い学び」につながります。「深い学び」とは、「人間としての生き方についての考えを深める学び」のことです。また、この「指導の明確な意図」については、後ほど詳しく説明をします。

道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため

これらの学習を通して

☆道徳的諸価値についての理解を基に

- ①自己を見つめる
- ②物事を多面的・多角的に考える
- ↓
- ③自己の生き方について考えを深める

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

9

授業づくりをしていく上で欠かしてはならないのは、「考え、議論する」道徳科の目標です。

道徳科の目標は・・・

「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、

自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、

自己の生き方について考えを深める学習を通して、

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」です。

よりよく生きるための基盤を養うために、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるのが、道徳科なのです。

四つの視点

- A 主として自分自身に関する事**
- B 主として人との関わりに関する事**
- C 主として集団や社会との関わりに関する事**
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事**

『学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科道徳編』には、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を四つの視点に分けて示されています。

では、四つの視点は何でしょうか？

その四つとは、

- A 主として自分自身に関する事
- B 主として人との関わりに関する事
- C 主として集団や社会との関わりに関する事
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する事

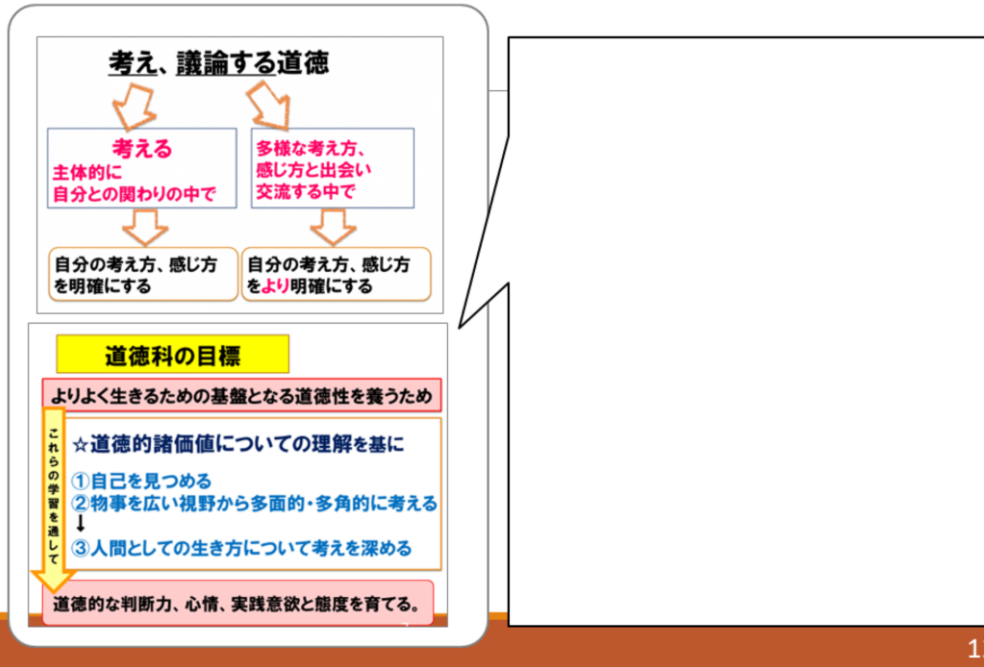
この視点から内容項目を分類整理し、内容の全体構成及び相互の関連性と発展性が明確にしてあります。

道徳科(小学校)の内容項目(全22項目)

A 主として自分自身に関すること					
善悪の判断, 自律, 自由と責任	正直, 誠実	節度, 節制	個性の伸長	希望と勇気, 努力と強い意志	真理の探究
B 主として人との関わりに関すること					
親切, 思いやり	感謝	礼儀	友情, 信頼	相互理解, 寛容	
C 主として集団や社会との関わりに関すること					
規則の尊重	公正, 公平, 社会正義	勤労, 公共の精神		家族愛, 家庭生活の充実	
よりよい学校生活, 集団生活の充実		伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度		国際理解, 国際親善	
D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること					
生命の尊さ	自然愛護	感動, 畏敬の念	よりよく生きる喜び		

小学校の道徳科の内容項目は、全部で22項目にまとめられています。
「第1学年及び第2学年」では19項目、「第3学年及び第4学年」では20項目、「第5学年及び第6学年」では22項目を年間の35時間（小学校1年生は34時間）の中で扱うことになっています。

「考え、議論する」道徳科



それでは、2分程度時間をとっていただき、ここまでのところで、ご自身が考える「考え、議論する」道徳科についてまとめてください。

「考え、議論する」道徳科

視 点

①今、自分はこのような「考え、議論する」道徳を行っている。

②これから、このような「考え、議論する」道徳を行っていきたい。

13

例えば、

「①今、自分はこのような「考え、議論する」道徳を行っている」

「②これから、このような「考え、議論する」道徳を行っていきたい」

のような視点でまとめてみてください。

「1 道徳科について」は以上です。

「2 授業づくりの手順」は、「道徳 オンデマンド②」をご覧ください。

講座の流れ（約90分）

- 1 道徳科について（約10分）
- 2 授業づくりの手順（約20分）
- 3 演習「授業づくり」（約60分）

続いて、「考え、議論する」道徳の授業づくりの手順について説明します。


道徳科の授業づくりで大切なこと

道徳科のねらい(道徳的価値)を踏まえ、道徳科の授業で児童生徒に、
**どのようなことを考えてほしいのか、
どのようなことに気付いてほしいのかを明確にすること！**

そして、道徳科の目標を達成させるために「道徳科」の授業づくりで大切にすべきことは、教師が、道徳科のねらい(内容項目にある道徳的諸価値)を踏まえ、道徳科の授業で児童に「どのようなことを考えてほしいのか、どのようなことに気付いてほしいのかを明確にする」こと！です。

『道徳授業づくりシート』の使い方

**道徳授業
づくりシート
の使い方**



道徳科の授業づくりで大切にしたいこと

道徳科の授業において、子どもたちに
**どのようなことを考えてほしいのか、
どのようなことに気付いてほしいのか**
を明らかにすること

おおよそ の順番に
メモをしていくことで、
本時のねらいが明確にな
ります。さらに、ねらい
に基づいた中心発問を設
定することができ、「考
え、議論する道徳」の授
業が構想できるようにな
るシートです。

**指導の明確な意図①
道徳的価値**

- ねらいや指導内容について、学習指導要領に基づき、教師の捉え方を明確にしましょう。

**指導の明確な意図②
児童生徒の実態**

- ねらいや指導内容に関連する児童や生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願いを明確にしましょう。

**指導の明確な意図③
教材の活用**

- 道徳的価値の自覚を深めていくために、使用する教材の特質やそれを生かす手掛かりを明確にしましょう。

「道徳的価値レベル」の教材分析

- 「道徳的価値についての考え方や生き方、信念」＝「道徳的価値レベル」を検討し、教材分析を深めていきましょう。

問い返しの発問

- 児童生徒の一面的な見方から多面的・多角的な見方につなげる問い返しの発問例を載せています。

本時のねらい

中心発問

予想される児童生徒の反応

問い返しの発問

本時のねらい

- 「指導の明確な意図」をもつことによって見えてきた「道徳的価値レベル」と「児童生徒の実態」をもとに、「本時のねらい」を設定しましょう。

中心発問

- 児童生徒が「考え、議論する」ための中心的な場面となります。
- 中心発問に対する「予想される児童生徒の反応」、さらに考えを深めるための「問い返しの発問」を準備することにより、発問する教材の場面や発問の文言を検討しましょう。

島根県教育センターのホームページにアップしている、このリーフレットには 『道徳授業づくりシート』 の使い方をまとめています。これから行う演習の際には、このリーフレットも参考にしながら進めていただきたいと思います。

授業構想の手順

- 1 主題名の検討
- 2 指導の「明確な意図」をもつ
 - ①道徳的価値
 - ②児童生徒の実態
 - ③教材の活用
- 3 本時のねらいの設定
- 4 学習指導過程の構想

明確な意図

児童に「どのようなことを考えてほしいのか、どのようなことに気付いてほしいのか」を明らかにするためには、このような手順で授業を構想するとよいと考えています。

まずは「主題名」を検討します。これは、道徳の授業でねらう道徳的価値がぶれないようにするためにも大切な作業です。

次に指導の「明確な意図」をもつことが欠かせません。

指導の「明確な意図」をもつことによって「本時のねらい」が設定できます。

これらの準備が整えば、だんだんと学習指導過程が見えてきます。

教材

「雨のバス停留所で」

わたしたちの道徳(3・4年)p124～

20

本日は、『わたしたちの道徳(小学校)』に掲載されている「雨のバス停留所で」の授業づくりを行います。

「授業づくりシート」を用いて、チームで「考え、議論する」道徳の授業をつくっていきたいと思います。

この後の演習でもじっくりと読んでいただきたいと思います。まずはあらすじを確認したいと思います。

「雨のバス停留所で」

配付資料
なし



『わたしたちの道徳 小学校3・4年』（文部科学省）p124

21

「雨のバス停留所で」はこのようなお話です。バス停留所では、バスを待つ人たちがお店ののき下で雨宿りをしています。バスがやってくると、よしこさんは先に並んでいた人を無視して先頭に並びます。

「雨のバス停留所で」

配付資料
なし



『わたしたちの道徳 小学校3・4年』（文部科学省）p125

22

そんなよしこさんをお母さんはものすごく強い力で元の順番に戻します。

「雨のバス停留所で」

配付資料
なし



『わたしたちの道徳 小学校3・4年』（文部科学省）p126

23

バスに乗る人たちの列が動き出しますが、バスに乗るまでいつもより時間がかかります。やっとの思いでバスに乗りました。でも、もう席は空いていませんでした。

1 主題名の検討

- C 主として集団や社会との関わりに関すること
12 規則の尊重

〔第1学年及び第2学年〕

約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

〔第3学年及び第4学年〕

約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。

〔第5学年及び第6学年〕

法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

主題名

社会のきまりを守る

の権

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』 p50

24

まずは、主題名を検討します。

主題名は『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』に記載されている内容項目を参考にして、短くわかりやすい言葉で設定します。

『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』の50ページには、「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」と書かれています。

資料『雨のバス停留所で』においては、例えば「社会のきまりを守る」のように設定できます。

2 「明確な意図」をもつ

①ねらいや指導内容について、学習指導要領に基づき、教師の捉え方を明確にする。

道徳的
価値

②ねらいや指導内容に関連する児童や生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願いを明確にする。

児童
生徒の
実態

③使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法を明確にする。
(道徳的価値の自覚を深めていくための手掛かり)

教材の
活用

次に、「本時のねらい」のを検討するために、指導の「明確な意図」をもつ作業を行います。「本時のねらい」を明らかにするために欠かせない、教師の「明確な意図」とは、

①・・・という「道徳的価値」にかかわる明確な意図。

②・・・という「児童生徒の実態」にかかわる明確な意図。

③・・・という「教材の活用」にかかわる明確な意図。

の3つです。

これらを検討することで、道徳科の授業において、子どもたちに「どのようなことを考えてほしいのか、どのようなことに気付いてほしいのか」が明確になり、「本時のねらい」を設定することができるようになります。

授業づくりシート(道徳的価値)

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改編)

教科名(出席) _____ 主題名 _____

本時の内容項目の見出し _____

内容項目の分析・理解 (一緒に考えたいポイント) **道徳的価値**

内容項目に基き価値観を育む意義 _____ 期待する授業実践の効果 _____

★水山の三層モデル (岐阜大学 橋本圭教授考案)

教材

登場人物が感じたことや考えたこと

道徳的価値についての考え方や生き方、信念

1. 道徳的に適切な登場人物は、誰か。(A)

2. 「A」が、道徳を重んじて、どう思ったか、(劇中)言っている言葉。(B)

3. 「A」が、道徳を重んじて、どう思ったか、(劇中)言っている言葉。(C)

道徳的価値について _____

授業構想

本時のねらいを明確にし、記述しよう。

本時に必要なものの中心内容、教材の位置

授業の流れや学習される多様な活動

問い遣いの時間

学習される多様な活動

本時のねらい

※本時に対する一定の学習者から多面的・多角的な視点からつぎが想定し得る期待
 ①道徳的価値、意義、重要性の理解 「どうして大切だと思うのか。」
 ②登場人物、出来事、登場人物 「どうしたら、どうあるべきだと思いますか。」
 ③道徳的価値の重要性の理解 「道徳を重んじている場面」「道徳を重んじていない場面」
 ④登場人物の価値観の理解 「誰かがおそれてしまっていますか。」
 ⑤道徳的価値の重要性の理解 「どうして、大切で大切なことですか。」
 ⑥登場人物の価値観の理解 「それで価値観がなりましたか。」
 ⑦その他 「F」のよさもぜひ取り入れましょう。

※道徳教育に関する研修等の取り組みに関する専門的知識(第2章)に詳しい岐阜県立教育センター 道徳教育実践の配付資料より

高橋県教育センター (令和2年3月版)

まずは、『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』を参考にして、主題名に基づいて「内容項目の見出し」を記入し、「内容項目の分析」を行います。

この内容項目の分析・理解が「道徳的価値」にかかわる明確な意図をもつことになります。

り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。

生活する上で必要な約束や法、きまりの意義を理解し、それらを守るとともに、自他の権利を大切に、義務を果たすことに関する内容項目である。

(1) 内容項目の概要

児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。そのためにも、約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。法やきまりは自分たちを拘束するものとして自分勝手に反発したり、自分の権利は強く主張するものの、自分の果たさなければならない義務をなおざりにしたりする者も存在する中で、社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守り、自他の権利を尊重するとともに義務を果たすという精神をしっかりと身に付けるように指導する必要がある。その際、法やきまりを守ることは、その自分勝手な反発等に対してそれらを許さないという意味をもつことと表裏の関係にある。

また、身近な集団におけるよりよい人間関係づくりや人間関係における規範意識について考えさせるためにも、重要な内容項目である。特に、人と人が仲間を

これは、『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』の50ページに記載されている内容です。ここには、「C-12 規則の尊重」に関する内容項目が説明してあります。

授業づくりシート(道徳的価値)

本時の 内容項目の見出し	C-12 規則の尊重
内容項目の 分析・理解	<p>○約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要。</p> <p>○社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守り、自他の権利を尊重するとともに義務を果たすことが大切。</p>

29

例えば・・・

本時の内容項目の見出しが「C-12 規則の尊重」であれば、内容項目を「○約束や法、きまりを進んで守ることができるようにすることが必要。○社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守り、自他の権利を尊重するとともに義務を果たすことが大切。」のように分析することができます。

授業づくりシート(児童生徒の実態)

内容項目に係る児童生徒の実態	期待する児童生徒の考え
<p>○気の合う仲間や集団の中にきまりをつくる。</p> <p>○自分たちで決めたことを大切にしようとする。</p> <p>●身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。</p>	<p>○一人一人が相手や周りの人の立場に立ってよりよい人間関係を築くことが大切。</p> <p>○社会集団を維持発展する上で守らなければならない約束やきまりがある。</p>
<p>道徳的価値についての考え方や生き方、信念</p> <p>みんな同じ願いや思いがある。それらをきちんとかえていくためにルールやきまりがある。</p>	<p>「そうしたら、どうなるに思いますか。」 「自分も同じような立場を思い出すから。」 「誰かが守られてもよいですか。」 「いいえ、ここで、守られて守られるから。」 「それで集団が保たれますか。」 「いいえ、みんな集まってよいこと。」 「みんな同じことを守りますか。」</p> <p>※道徳教育に係る授業等の振り返りに関する専門委員会(第2回)における結果(筑波大学附属 道徳教育実践研究センター)より</p>

児童生徒の実態の左側には「内容項目に係る児童生徒の実態」を記入します。

右側には、道徳の時間を通して「期待する児童生徒の考え」を記入します。

例えば・・・左側の「内容項目に係る児童生徒の実態」の欄には、「○気の合う仲間や集団の中にきまりをつくる。○自分たちで決めたことを大切にしようとする。

●身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。」のように記入します。

本日お配りした「授業づくりシート」には、すでに記入していますが、実態に合わせて書きかえてください。

また、右側の「期待する児童生徒の考え」の欄には、例えば・・・○一人一人が相手や周りの人の立場に立ってよりよい人間関係を築くことが大切。

○社会集団を維持発展する上で守らなければならない約束やきまりがある。

など、内容項目の分析によって明らかになった道徳的価値に基づいた「授業において期待する児童生徒の考え」を記入します。

■ 第3学年及び第4学年

この段階においては、気の合う仲間や集団の中にきまりをつくり、自分たちの仲間や集団及び自分たちで決めたことを大切にしようとする傾向がある。また、一人一人が身近な生活の中で、約束や社会のきまりと公共物や公共の場所との関わりについて考えることは少ない。

指導に当たっては、そのような発達の特性を生かし、一般的な約束や社会のきまりの意義やよさについて理解し、それらを守るように指導していくことが大切である。さらに、社会集団を維持発展する上で、社会生活の中において守るべき道徳としての公德を進んで大切にす態度にまで広げていく必要があ

る。特に、集団生活をする上で、一人一人が相手や周りの人の立場に立ちよりよい人間関係を築くことや、集団の向上のために守らなければならない約束やきまりを十分考えることが必要である。

『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』 p51

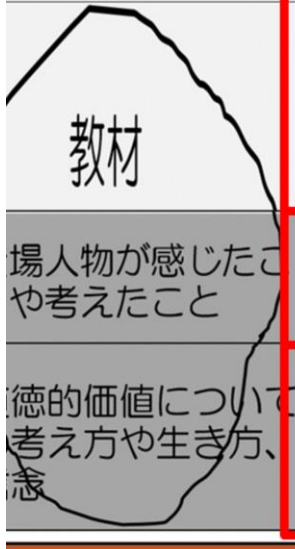
これは、『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』の51ページに記載されている内容です。

ここには、第3学年及び第4学年の一般的な傾向が示してあります。また、指導に当たって大切にすることが明記されています。

この部分を手掛かりにすると内容項目に係る「児童生徒の実態」をとらえやすくなります。

授業づくりシート(教材の活用)

★氷山の三層モデル
央大学 島恒生教授考案)



① 道徳的に変容した登場人物は、誰か。

(A)

② (A) が変容するきっかけになった出来事は、何か。

(B)

③ (A) が変容を遂げて、どうなったか。(教材に書いてある様子)

(C)

読解レベル(教材から読み取れること)

読解レベル

道徳的価値レベル

道徳的価値レベル

34

まず、① 道徳的に変容した登場人物は、誰か。

次に、② この登場人物が変容するきっかけになった出来事は、何か。

そして、③ 登場人物が変容を遂げて、どうなったのか？を明確にしていきます。

この教材分析をもとに「教材から読み取れること」を記入します。これを「読解レベル」の教材分析とっています。

そして、さらに「道徳的価値レベル」の教材分析を行い、記入します。

授業づくりシート(教材の活用)

★氷山の三層モデル (畿央大学 島恒生教授考案)			
	①道徳的に教育した登場人物は、誰か。 (A) ブラッドレー	②(A)が寛容するきっかけになった出来事は、何か。 (B) お母さんからの請求書	
	③(A)が、寛容を遂げて、どうなったか。(教材に書いてある様子)。 (C) ブラッドレーの目はなみだでいっぱいになった。	教材レベル	
	読解レベル(教材から読み取れること)。 このお金は返します。 お母さんのために、ほくにも何がさせてください。	読解レベル	
道徳的価値レベル お母さんをふくめて家族は、自分(教材)を育てて育ててくれている。 家族が喜んでくれることをすると、自分も喜んでくれることができる。	道徳的価値レベル		

これは、畿央大学の島 恒夫教授が考案された「氷山の三層モデル」に基づいたものです。教材という氷山の下にある「登場人物が感じたことや考えたこと」＝「読解レベル」を記入します。そして、さらにその下に潜んでいる「道徳的価値についての考え方や生き方、信念」＝「道徳的価値レベル」を記入し、教材分析を深めていきます。

この「道徳的価値レベル」は、教材を通して「児童生徒に考えさせたい道徳的価値」ですから、直接「本時のねらい」につながります。

授業づくりシート(教材の活用)

道徳的価値レベル

みんな同じ願いや思いがある。
それらをきちんとかなえていくために
ルールやきまりがある。

36

例えば、

「みんな同じ願いや思いがある。それらをきちんとかなえていくためにルールやきまりがある。」

のように道徳的価値レベルをとらえることができます。

3 ねらいの検討

どのような学習をする
のかが分かるように

きまりを守ることは誰もが生活を送る上で大切なことに気づき、社会のきまりを進んで守ろうとする**態度**を育てる。

<道徳的価値>
※内容項目より

<道徳性の諸様相>
判断力・心情
実践意欲・態度

37

次に、ねらいを検討します。ねらいは、どのような学習にするのかがわかるようにすることが大切です。

ねらいの前段（青色）の部分は、先ほどの『学習指導要領解説「特別の教科道徳編」』に記載されている内容項目を参考にして設定します。

最後の（赤色）部分は、道徳性の諸様相の4つ「判断力」「心情」「実践意欲」「態度」の中から選んで設定します。

授業づくりシート(本時のねらい)

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改編)

教科名(出席): _____ 主題名: _____

本時の内容項目の書き出し

内容項目の分析・理解
(一緒に考えたいポイント)

内容項目に基き授業活動の構成

期待する授業活動の効果

★水山の三層モデル
(岐阜大学 橋本圭教授考案)

教材

登場人物が感じたこと
や考えたこと

道徳的価値についての
考え方や生き方、
信念

1. 道徳的に正しい/ 倫理的人格
は、何なのか。
(A)

2. 「A」が、道徳を重んじて、どう思ったか、(劇的に)書いてある様子。
(B)

3. 「A」が、道徳を重んじて、どう思ったか、(劇的に)書いてある様子。
(C)

教師の問い、(劇的に)問いかけること。

授業の展開(15分)

本時のねらいを明確にし、記述しよう。

本時のねらい

ねらいにそって授業活動の中心時間、教材の配属

授業活動の学習意欲を多様な活動

ねらい達しの時間

学習される多様な活動

本時のねらい

※本時における一貫した学習活動から多面的・多角的な視点からつぎが重要視される時間
① 登場人物の感情、行動、心理の描写 「どうしてそう思ったのか、」
② 登場人物の感情、行動、心理の描写 「どうして、どう考えたのか、」
③ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
④ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑤ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑥ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑦ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑧ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑨ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」
⑩ 登場人物の感情、行動、心理の描写 「何を思ったのか、」

※道徳教育に関する評価等の在り方に関する専門的知識(第2巻) における岐阜大学大学院 教育学部教育実践の配付資料より
高橋英教育センター (令和2年3月版)

授業づくりシートでは、この部分に「本時のねらい」を書いていきます。

4 学習指導過程の構想

①中心発問を考える

- 考え、議論させる場面
※中心発問自体であったり中心発問前後であったりと、
場合によって異なる
- 中心発問に対する「予想される児童の反応」
- 考えを深めさせるための問い返しの準備

②中心発問に迫るための補助発問（準備発問）

③導入を考える

④終末を考える

<指導の工夫>

発問構成 劇的な表現活動 資料提示 話し合い 座席配置
板書の工夫 人材活用 ワークシートの活用 など

40

これまでの準備ができれば、中心発問が見えてきます。
場合によって異なりますが、多くの場合は、この「中心発問」について児童が考える場面が、「考え、議論させる場面」になります。
中心発問を児童に問いかけることで、児童は他者の考えを聞き、多様な考え方、感じ方と出会い交流する場をつくり出すことができ、さらには「児童たちが自らの考え方や感じ方をより深める」ことができる時間ができ上ります。
こんな時間を児童が共有し、児童の一人一人がじっくりと考えることができるような中心発問を検討してみてください。

授業づくりシート

道徳授業づくりシート (広島県立教育センター作成 「道徳リードシート」を改編)

教材名: _____ 主題名: _____

本時の内容要約の作成

内容要約の分野・領域 (一緒に考えたいポイント)

内容要約に基く授業進捗の展開

展開する授業進捗の状況

★赤山の三層モデル (徳島大学 藤原立野教授考案)

教材

登場人物が感じたことや考えたこと

道徳的価値についての考え方や生き方、信念

1. 道徳的に賞讃された登場人物を挙げる。

(A)

2. (A)の人物が賞讃された理由を挙げる。

(B)

3. (A)が、賞讃も受けて、恥をかいたか、(B)に(怒)っているか。

(C)

展開し、(C)で終わる場合がある。

道徳的価値について

本時のねらいを明確にし、記入しよう。

中心発問

自らに求めるための中心発問。教材は共通

予想される児童の反応

問い返しの発問

本時のねらい

広島県立教育センター (令和元年 11 月版)

「中心発問」が、設定できたら、今度は「より本時のねらいに迫るための展開」を構想します。

まず、「中心発問」に対する「予想される児童の反応」を記入します。児童がもっているそれぞれの価値に応じた反応を検討するとよいでしょう。

次に、児童の考えを深めるための「問い返しの発問」を準備します。この「問い返しの発問」は、生徒の一面的な見方を多面的・多角的な見方へとつなげる発問です。発問例を「授業づくりシート」の右下に載せていますので、参考になさってください。

これらの発問をして、児童の発言をコーディネートしながら「本時のねらい」に迫っていくようにします。

4 学習指導過程の構想

①中心発問を考える

- ・考え、議論させる場面
※中心発問自体であったり中心発問前後であったりと、
場合によって異なる
- ・中心発問に対する「予想される児童の反応」
- ・考えを深めさせるための問い返しの準備

②中心発問に迫るための補助発問（準備発問）

③導入を考える

④終末を考える

<指導の工夫>

発問構成 劇的な表現活動 資料提示 話し合い 座席配置
板書の工夫 人材活用 ワークシートの活用 など

43

このように、まずは①中心発問を考えることから学習指導過程の構想を行うとよいでしょう。そのために、ぜひ「道徳授業づくりシート」を活用していただきたいと思います。

「道徳授業づくりシート」で構想できるのはここまでですが、この後に、

②中心発問に迫るための補助発問（準備発問）

③導入

④終末

を考え、道徳の授業をつくり上げていきます。

導入 課題意識を高める。

「あれ?」「もっと考えたい!」

展開 道徳的諸価値についての理解
&
自分事として、多面的・多角的に考える

終末

よりよく生きるために、明日への実践意欲をもつ

「こうなりたいなあ」「これって、いいなあ」

44

これは、道徳の基本的な学習指導過程です。

導入で、課題意識を高め、

展開で、道徳的諸価値についての理解を深め、自分事として多面的・多角的に考えます。

そして、終末で、よりよく生きるために、明日への実践意欲がもてるように学習を展開していきます。

「授業づくりシート」を活用していただき、児童たちが「こうなりたいなあ」「これっていいなあ」と思える道徳の授業をたくさん実践していただきたいと思っています。

「2 授業づくりの手順」は以上です。

「3 授業づくりの演習」は、「道徳 オンデマンド③」をご覧ください。

講座の流れ（約90分）

- 1 道徳科について（約10分）
- 2 授業づくりの手順（約20分）
- 3 演習「授業づくり」（約60分）

それでは、実際に「道徳授業づくりシート」を使って「考え、議論する」道徳の授業づくりをしてみましょう。

演習

「雨のバス停留所で」

わたしたちの道徳(3・4年)p124～

46

今日は「雨のバス停留所で」を用いて演習を行います。

演習の流れ（約60分）

- ① 教材の分析
- ② 期待する児童の考えの検討
- ③ ねらいの設定（約30分）
- ④ 中心発問の検討（約20分）
- ⑤ 中心発問について（発表）（約10分）

48

例えば、①教材の分析→②期待する児童の考え→③ねらいの設定→④中心発問の検討のような順番で進めてください。

個人で進められても構いませんし、チームで相談しながら進められても構いません。

この演習の一番の目標は「中心発問を検討すること」です。

30分経ったらチームで「中心発問をどう設定したらよいか」また、「児童の予想される多様な反応」について話し合ってください。

最後の10分で、各チームにおいて話し合われたことを発表していただきます。

それでは、「道徳授業づくりシート」を使って授業づくりを始めてください。

ここで一度、動画を停止して演習を進めてください。⑤の発表が終わりましたら、再び動画を再生してください。

本講座のゴール

「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。

49

本講座のゴールは、「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントを他の人に説明することができる。」ようになっていただくことでした。

今からご自身でポイントをまとめていただきたいと思います。

その後、となりの方に道徳の授業をつくるためには「ここがポイントだ」「こうすれば考え議論する道徳ができる」とご説明ください。

それでは、今から3分程度で、「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントをまとめてください。

ここで一度、動画を停止してください。となりの方にポイントを説明されたら、再び動画を再生してください。

オンデマンド講座（小学校）

「考え、議論する」道徳の 授業づくり

ご視聴いただきありがとうございました。

島根県教育センター

「考え、議論する」道徳の授業をつくるために必要なポイントを説明していただくことができたでしょうか？

今後も、「道徳授業づくりシート」をご活用いただき、児童たちのために「考え、議論する」道徳の授業をたくさん実践していただきたいと思っています。

以上で終わります。